

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 2 3 号 2017 年 4 月 18 日

先日、中央本線の各駅停車の旅をしてきました。トンネルを出るたびに次々と目に飛び込んでくる満開の桜…。街の桜並木も良いものですが、田舎の山肌に咲く桜も凜として美しいものです。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第 2 3 号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【 1 】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第 2 7 回コンサート
- 【 2 】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆ 第 2 8 回コンサート
 - ◆ 第 2 9 回コンサート
- 【 3 】 オペラ入門！
- 【 4 】 コンサートのアンケートから

【 1 】 次回コンサートのご案内

■ ■ 第 2 7 回コンサート ■ ■

- ◇ 2017 年 5 月 2 1 日（日曜日）14:00 開演（13:30 受付開始）
- ◇ 出演：醍醐園佳（ソプラノ）御邊典一（ピアノ）
- ◇ プログラム（予定）
 - ◆ ロッシーニ：「セヴィリアの理髪師」より “今の歌声は”
 - ◆ ロッシーニ：何も言わずに / 恨み言
 - ◆ ロッシーニ：アルプスの羊飼いの娘
 - ◆ モーツァルト：「フィガロの結婚」より “愛の神”
 - ◆ 團伊玖磨：紫陽花（作詞：北山 冬一郎）
 - ◆ 山田耕筰：松島音頭（作詞：北原 白秋）
 - ◆ 越谷達之助：初恋（作詞：石川 啄木）
 - ◆ トスティ：薔薇
 - ◆ トスティ：暁は光から
- ◇ 料金：大人・高校生 2,000 円、中学生以下 1,000 円
- ◇ 会場：大倉山記念館ホール

第 2 7 回ジョイフルコンサートは

『醍醐園佳ソプラノ・リサイタル～大輪の花 愛を歌う』と題して、お届けします。

醍醐園佳さんからメッセージが届いています

今回前半はロッシーニ作曲 歌劇『セヴィリアの理髪師』からロジーナの aria、そしてそのロジーナの 3 年後を描いておりますモーツァルト作曲『フィガロの結婚』の伯爵夫人の aria を演奏させていただきます。人間愛の心の成長や葛藤をどう表現するか、本番まで色々研究させていただきます！

そして後半は日本歌曲『紫陽花』『初恋』など大和撫子の恋心、そして歌の旋律だけではなく、ピアノもとても美しいトスティの歌曲を御邊先生の美しい伴奏で演奏させていただきますのが私自身もとてもたのしみしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます！

今回のジョイフルコンサートは醍醐園佳さんのソプラノ・リサイタルです。

正に大輪の花のような華やかなステージにして下さると思います。外国の歌曲だけではなく日本語の歌曲もあります。言葉の美しさを味わっていただけるとと思います。どうぞお楽しみになさってください。

☆ロッシーニ/セヴィリアの理髪師より「今の歌声は」

○ロッシーニ

ロッシーニはイタリア生まれの作曲家です。恐らく多くの人達がイメージするイタリア人の典型的な生き方をした人なのではないかと思えます。一般的に勤勉な日本人には難しいと思えますが、羨ましくもあるしとても面白いです。

代表作は「セヴィリアの理髪師」「ウィリアム・テル」などのオペラがあります。喜劇やハッピーエンドの作品が多いのが特徴と言われています。

ロッシーニは大変お料理を作るのも食べるのも大好きだったそうです。37歳の時に「ウィリアム・テル」を作った後はオペラの作曲をやめてしまい、料理の創作やレストラン経営を熱心に行なっていくようになります。「〇〇のロッシーニ風」というフランス料理はロッシーニの名前が付けられたほどです。レシピを検索すると「牛ひれ肉のロッシーニ風」等といろいろなレシピがたくさん出てきます。いつか試してみたいと思えます。

作曲家としてロッシーニに憧れていたワーグナーがある時、ロッシーニの家を訪ねます。ちょうどその時ロッシーニは鹿の肉を焼いていました。まだ音楽家として成功していなかったワーグナーは何とかロッシーニに教えを請いたいと一生懸命音楽の話をしてますが、鹿肉の焼け具合が気になってしょうがないロッシーニは鹿肉の話ばかりしていたそうです。全然会話が噛み合っていなかったと面白いエピソードが残っています。

○セヴィリアの理髪師

医者バルトロは姪ロジーナの後見人でしたが、彼女の財産を狙って結婚を企んでいました。ロジーナに一目惚れしたアルマヴィーヴァ伯爵は、理髪師フィガロを使って身分を隠し、思いを伝えようとします。ロジーナも伯爵に思いを寄せますが、それに気づいたバルトロは焦って結婚を急ごうとし、様々な妨害をします。バルトロの数々の陰謀を乗り越え最後伯爵とロジーナが結ばれるというコメディです。伯爵とロジーナの後日談が「フィガロの結婚」になります。

今回のプログラムの「今の歌声は」は第1章第2場の最初に伯爵の思いを知ったロジーナがその気持ちに応える思いを歌ったものです。

もう桜の花は散ってしまいましたが、だいぶ暖かくなって心地よい季節になってきました。5月は新緑が毎年美しいです。是非ジョイフルコンサートにお出かけください。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第28回コンサート■■

◇2017年7月16日（日曜日）

◇出演：實川風（ピアノ）

★2015年10月フランス・パリで行われたロン＝ティボー＝クレспан国際コンクールにて1位なしの第3位受賞をはじめ数多くの国際コンクールで優勝及び入賞を果たしています。

ジョイコンには第12回（2014年11月）以来の2度目の出演です。

◆予約受付開始日：2017年5月22日（月曜日）

■■第29回コンサート■■

◇2017年9月17日（日曜日）
◇出演：平田耕治（バンドネオン）ほか

【3】オペラ入門！

オペラは「作品」や「動作」を意味するイタリア語の opera（ラテン語の opus の複数形）を語源とし、本来は opera in musica（音楽による作品）、あるいは opera scenica（舞台付きの作品）と呼ぶべきものを略して「オペラ」と呼ぶようになりました。

オペラは「歌劇」と訳されるように、せりふの大部分が独唱・重唱・合唱によって演じられ、伴奏は管弦楽によるクラシック音楽です。16世紀末にイタリアで生まれ、貴族社会と結びついてヨーロッパの各地域に広まりました。私達が普段、接しているオペラ、例えば『フィガロの結婚』『椿姫』『蝶々夫人』・・・といった有名なオペラは、そのほとんどが1750年以降から1950年頃までの200年間に作曲されたものです。

オペラの舞台には、そのオペラのストーリーに合った背景と装置が設置され、オペラ歌手がそれぞれの役になりきって歌い演じます。オペラのストーリーが進行していく中で、一人の登場人物がクローズアップされ、その時の心情を美しい旋律で感動的に歌い上げるのが「アリア（詠唱）」です。アリアは美しい旋律に同じ言葉を繰り返し付けて歌います。アリアでない部分のオペラのストーリーを進める会話部分で用いられるのが「レチタティーヴォ（叙唱）」です。これは、実際に話すリズムで、語るように歌われます。せりふに音楽を付けたかのように会話がそのまま音楽になっています。

オペラから派生したものに「オペレッタ」があります。「小さなオペラ」「喜歌劇」と訳されます。19世紀半ば、貴族の楽しみだったオペラを庶民にも楽しめるようなコメディ形式にしたのがオペレッタです。伴奏が管弦楽によるクラシック音楽でせりふの大半が歌唱という点はほぼオペラと同じですが、オペラの多くが悲劇を扱うのに対し、オペレッタは軽妙なストーリーと歌による娯楽的な作品が多いです。オッフェンバック「天国と地獄」、ヨハン・シュトラウス2世「こうもり」、レハール「メリー・ウイドウ」などが有名です。

オペレッタがアメリカに渡り、20世紀に発展したのがミュージカルです。ミュージカルは歌と踊りが主体の歌劇で、形式的にはオペレッタに似ていますが、ポピュラー音楽を使い、ショー的な要素が強くなっています。歌い手はマイクを使用するので、オペラ歌手のような発声の技術を習得していなくても務まりますが、ダンスの技術が必要です。

オペラは本来、オペラハウス（歌劇場）で上演されるもので、コンサートホールで行なうものではありません。日本は多目的型のホールが多くあって、そこでオーケストラのコンサートも室内楽のコンサートも、そしてオペラも催されてきました。しかし、コンサートホールで本格的なオペラを上演しようとしても舞台装置で足りない点が多くあるそうです。1997年10月、日本にも初めて常設オペラ劇場として新国立劇場が東京の初台にオープンしました。現在、東京で私達が本格的なオペラを観ることができるのは新国立劇場・東京文化会館・オーチャードホール・NHKホールなどです。

オペラ初心者がアリアを楽しむならシュトラウスの「こうもり」がオススメかもしれません。「こうもり」の第2幕は公爵のパーティが舞台なのですが、このパーティの中で本当にコンサートをやってしまう演出があるのです。例えば、有名オペラ歌手を招いて次々とオペラのアリアを歌ってもらったり、バレエが催されることがあったり・・・もちろん演出によりますが、オペレッタ「こうもり」を観ているのに他のコンサートも味わえるなんて得した気分になりますね。（のん）

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（3月19日公演）：『会田莉凡ヴァイオリン・リサイタル～リボンで結ぶ名曲の花束』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」77%、「良かった」9%、残りは「無回答」の14%でした。

自由記入欄（ご感想など）には、
『ヴァイオリンの音の美しさ、力強さ、激しさ、奥深さを生まれてはじめて体験させていただき、心が震えるばかりです』『会田莉凡さんの若さあふれる演奏感動、田中麻紀さんとの演奏も最高』『内なる情熱が伝わってくる演奏でした。オール聴きごたえのある曲でとてもよかったです。バッハは涙が出ました。単にテクニックだけの演奏ではなく、引き込まれました』『プログラム構成も素晴らしかったです。リムスキー＝コルサコフ良かったです。フランクは圧巻でした！！』など、聴きごたえのある満足度の高い演奏会だったようです。アンケート回収数：44（回収率55%）

会田さんから、“半分以上の方が回答くださったことにまず驚き、またあたたかいコメントに大変励まされました。”とのメールが届いています。

「ジョイコン」では、アンケートの「集計結果」をお客様の生の声として演奏者にもそのままお知らせしています。（もちろん個人情報含まれません）
今後も演奏者とお客様を繋ぐ“架け橋”になれるよう努めてまいります。

【編集後記】

東日本大震災から6年。東北大学災害科学国際研究所は、撮影された津波の発生状況・被害映像を地図上に配置することで、地域ごとに検索・閲覧できるシステム「動画でふりかえる3.11ー東日本大震災公開動画ファイnder」を公開している。
<http://311movie.irides.tohoku.ac.jp/>

どこの場所で、どのような被害があったのかをあらためて知ることで、今後必ず起こるとされる首都直下型地震の避難行動等にも生かしたいものだ。（お）

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み
次回予約申し込みはこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー
メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更
メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
info@ohkurayama-joycon.com

.....
発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会
Eメール info@ohkurayama-joycon.com
携帯電話 080-8424-5108
URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
.....